

《意見交換の概要》

1 日時

平成 27 年 11 月 14 日（土）17 時～18 時

2 場所

都筑区役所会議室

3 意見交換の概要

（畑澤区長）

皆様、こんばんは。

都筑区 P T A 連絡協議会の皆様におかれましては、日頃から子どもたちの健やかな育成、そして安全・安心のために、ご尽力いただきましてあらためてお礼申し上げます。

さて、都筑区の特徴といたしましては、皆様ご承知のとおり、子育て世代が多く、平均年齢が 40.49 歳と市の平均よりも 4 歳ほど若くなっており、また転入者に占める 15 歳未満の割合は 17.3%と、こちらも市全体の割合を 6 ポイントほど上回っています。これは、都筑区が「子育てをするのに適した区」として、子育て世代に選ばれているからだと考えられます。

反面、転入者が多いことにより、地域との関係が希薄になる傾向もごございます。

このようなことを踏まえ、区役所といたしましては、地域のつながりを深め、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。そのさらなる推進のためには、家庭・学校・地域をつなぐ立場である、まさに P T A 連絡協議会の皆様方のお力が不可欠と考えます。

本日は皆様方の日頃の活動状況などとともに、活動を通じた課題など、忌憚のないご意見をお伺いできればと考えておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

本日はお忙しい中申し訳ありませんが、どうぞよろしく願いいたします。



（P T A 連絡協議会役員）

本日は貴重な機会ありがとうございます。

都筑区は、児童・生徒数が約 20,000 人おり、区民の 10 分の 1 を占めています。また、区長のお話でもありました転入者も多く、新しい方々からは「なじめない」ということを聞くこともあります。

P T A といたしましては、こういったケースの橋渡しができればと考えていますし、行政の方々とも連携した取組ができればと考えております。

今後ともこういった貴重な機会をどうぞよろしく願いいたします。

（司会）

それでは、自己紹介を兼ねて、各学校の P T A 活動の状況のご紹介をお願いいたします。



(P T A 連絡協議会役員)

本校は、大規模校で、保護者は共働きの方の割合が多く、P T Aは保護者と学校とのコミュニケーションを円滑にする橋渡しのような存在になればと考えています。

P T Aといたしましては、学校を気軽に訪れていただけるような、そんな機会を設けていきたいと考えています。

また、校外安全委員会の活動では、これまで「防犯」に積極的に取り組んできましたが、「防災」にも力を入れていきたいと考えており、今年は区役所の担当課の職員の方に講習でお話ししていただきました。

このような機会を増やし、少しでも「防災」についての知識を持った方が増えればと考えています。

現在のところ、P T A活動が、地域の自治会活動などと強い連携を持っているところまではまだありませんが、少しずつ地域とのつながりができつつあるというのが実感です。



(P T A 連絡協議会役員)

本校も大規模校です。校内の先生方は、第一に「子どもたち」のためという目的で対応してくれています。

今年度、校長先生の新しい取組として、例えば図書室をデンマーク調に改装したり、トイレ掃除を生徒みんなで行ったりなどがあります。

P T A活動については、負担感を少しでも払しょくできるように考えています。P T Aは雑用、仕事

係ではない、やりたいことをやるという思いで取り組んでいます。その一つとして「学びの場」という取組も行っています。



(P T A 連絡協議会役員)

本校は、市内ではじめて学校運営協議会を立ち上げた学校です。

それだけあって、会合も毎月必ず開くなど、意識が非常に高いと思います。

地区には比較的新しい住民の方々が多いのですが、もともと住まわれている住民の方々も、寛容で、新しい方を受け入れてくれています。

P T A活動も、このような頼もしい地域に引っ張ってってもらいながら進んでいる状況です。

学区内の小学校とも密接に連携を図っており、学区内の小中学校で地区を盛り上げていこうと取り組んでいます。

(PTA連絡協議会役員)

本校は明治7年創立で、今年で141年目です。

まちの方が相談して創り上げた学校ということで、当時から教育熱心な地区であったことが伺えるとともに、今でも地域の方々には「おらがまちの、おらが学校」という意識が強いです。

地域の有力者の方は、ほとんどが本校出身で、そのため、地域の協力はとても強くなっています。

このような特徴のある小学校ですので、PTAとしては、「出身者ではない教職員」と「地域」をつなぐことが大きな役割となっています。

平成26年度が140周年だったため、様々な記念事業を行いました。今年はゆったりと取り組んでいければと思っていますが、とはいえ、来週にはまつりもあり、そんなにゆっくりできないというのが現状です。



(PTA連絡協議会役員)

本校は今年創立5年目と、まだまだ新しい学校ですので、地域に出身者の方々はいませんが、地域と非常に良い関係にあります。

PTA活動も、これまでは立ち上げて軌道に乗せるのが精いっぱいという状況でしたが、ようやくメール配信などもスタートさせることができました。

来月5日には、地区の小学校とともに、はじめて合同の催しを開催します。これは保護者、地域の方も巻き込んで開催するものです。このように少しずつですが、新しい取組を行っていきたいと考えています。

個人的には、(PTA会長などの)リーダーとは、「人の話をよく聴き、一步下がってものが言える人」と思っています。こういう姿勢で臨むことで、保護者との関係、地域との関係などにおいて良い方向に進んでいくのではないかと考えています。



(PTA連絡協議会役員)

本校は、今年創立32年目で、港北ニュータウンとともに歩んできた学校と言えます。

小学校との連携、地域との連携も密接で、毎年の夏まつりなどは盛大に開催しています。

活動の一つに、オアシス運動というものがあります。いわゆるあいさつ運動で、教職員、PTA、保護者が、もう7年近くも取り組んできています。浸透の成果として、私が学校に行くと、生徒の方から元気にあいさつしてくれます。併せて、清掃活動も積極的に行って

おり、まち自体も「ゴミを拾うまち」から「ゴミを捨てないまち」に変わってきました。

せっかくの機会なので、関心事、要望・意見を言わせていただくと、関心事のひとつは「学校給食、スクールランチ」のことで、これは都筑区PTA連絡協議会全体でもたびたび話題になります。

また、もうひとつは「中学生の居場所の確保」の問題です。都筑区は商業施設が多くあるなど都会的な部分と緑豊かな自然の部分が融合した良いまちですが、意外と中学生たちが集まれる場所が少ないと感じています。この場所をいろいろ工夫して確保できないかなと感じています。

(PTA連絡協議会役員)

本校のことに触れる前に、都田中学校が、先日女子剣道部が全国優勝をするという快挙を成し遂げました。祝勝会には区長にもご出席いただきありがとうございました。

本校についてですが、児童数が1,140数人と市内で一番多い小学校で、平成26年度には新校舎の増築も行っていきます。

地域の方々も学校との関係は深く、行事等も積極的に連携をとって行っています。

保護者の方々もボランティア活動にはとても熱心で、「読み聞かせ」や「パトロール」など積極的に参加いただいています。ただ、PTAの役員のなり手はなかなかいないというのが現状です。

今年創立36年目になりますが、これまでおやじの会がありませんでした。今年ついに、4人で立ち上げることができました。先日の運動会でも、周辺の小中学校のおやじの会の皆さんにご協力いただき、パトロールも実施したところです。現在、12月の餅つき大会に向け準備を進めているところです。

(PTA連絡協議会役員)

本校は、いわゆる中規模校で、現在のところ児童数は微増傾向にある状況です。

地域の状況としては、古くからいるの方々がおよそ3割、新しく転入されてきた方々が7割といった状況です。新しい住民の方々は、まだまだ地域との関係は希薄ですが、何かあれば、古くからの方々を中心に、言わなくても協力をいただけるという環境です。

このように地域の方々があたたかく見守ってくれていることが、私たちPTAとしても、自分たちもやらないと、という気持ちにさせてくれています。

PTA活動をやっていると、子どもの卒業後も地域とのつながりができます。

新しい住民の方々にも、時間をかけてこのような地域とのつながりの大切さを浸透させていければと思っています。

本校の小学校区は、PTA活動をやっていると新しい発見もある、とても楽しい地区です。



(畑澤区長)

ありがとうございました。お話の中でできた、新しい住民の方々と古くからの住民の方々という関係も、学校に対する、子どもたちに対する思いは共通であることがよく分かりました。

また、PTA活動に対する負担感、会長職のなり手が見つからないということは共通の課題なのですね。お話にありました、中学生の居場所の確保ということも、併せて意見交換できればと思います。

(PTA連絡協議会役員)

多くの保護者は仕事との両立などがあり、会長職については、なり手がなかなか見つからない状況です。

(PTA連絡協議会役員)

ただ、一度PTA活動を経験すると、続けていきたいという人も意外と多いのではないかと思います。

(PTA連絡協議会役員)

本部役員のなり手を増やすために、できるだけ、色々な方に委員会を経験してもらい、「あれならできる」「これなら大丈夫」「それなら本部役員もやってみようかしら」となってくれればと思います。

「そんなに大変ではなかった」と思っていたく工夫が必要と感じています。

(PTA連絡協議会役員)

実際に、本部役員が楽しみながらやっていることを示せることが必要だと思います。

(PTA連絡協議会役員)

本校は、創立時の校長先生から、「会長は女性でお願いしたい」との要望があったとのことで、ずっと女性会長でできています。

中学校の場合は、3年間しかないなので、なるべく長くやってもらうには、お願いするのが現在の中学1年や小学6年の保護者ということになり、幅が狭まります。そういった意味で小学校と違った大変さがあります。



(畑澤区長)

楽しさが負担感を上回れば、なり手の問題も解消されていくのかもしれないね。

(PTA連絡協議会役員)

広報も重要で、現状では学校自体のことは伝えているが、PTA活動のことを伝えきれていない状況にあります。

(PTA連絡協議会役員)

都筑区のように、毎月定例で会合を開いている区PTA連絡協議会は、あまりありません。区によってはたまにしか会合がないので会長同士、顔も知らない場合もあるようです。

そのような意味では、都筑区はお互い顔見知りで、悩みを打ち明けられる良さがあり、支え合っています。連携がととても取れています。

(PTA連絡協議会役員)

自分一人ではないと感じられ、活動していて楽しいと感じています。



(PTA連絡協議会役員)

本校は本部役員と学校運営協議会の連携が強くなっています。先程も申し上げましたが、地域から大きな協力をいただき活動しています。

(畑澤区長)

PTA活動の内容が保護者の方々にもっときちんと伝わり、楽しいということが分かればというところですね。

(PTA連絡協議会役員)

本校では茶話会を定期的に行っていて、参加者が増えつつあります。

全学年の保護者が対象で、可能な時に可能な人が来るという、「誰でもいつでも…」という気軽なスタンスで行っています。校長先生や副校長先生も同様、役員も当番は来ますが、それ以外は来られる人が来るという、おらかに堅苦しくなくやって成果が出つつあります。

(畑澤区長)

中学生の居場所の話に関連して、対象者は限定的となってしまいますが、都筑区では「寄り添い型学習等支援事業」という事業を行っています。事業内容として、「子どもたちへの学習の場の提供、学習の支援」「気軽に立ち寄ることのできる居場所の提供」等を行っており、区内の色々な方面から利用していただいています。

みんなが集まって自由に話したりできる場所があればいいですね。

(司会)

小・中の皆さんと一緒に活動できているのは良いですね。

(PTA連絡協議会役員)

おっしゃるとおり、小・中の連携が取れているのは良いですね。

小学生は守らなければならない、中学生は抑える必要があると、それぞれが持つ違う悩みを共有、共感できる。

小学校は、先輩である中学校の話も聞け、参考にできる良さがあります。

(畑澤区長)

本日は、お忙しい中、貴重なお時間をありがとうございました。

各学校での取組状況と、特に役員のみならずの課題などをお聞かせいただきました。

いただきましたご意見は、これからの区政運営の中で参考にさせていただくとともに、地域のつながりをさらに深めていくためには、様々な場面で皆様方のお力添えをお願いさせていただくことになると思いますので、今後ともぜひよろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

